

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	越 政昭
	全体計画			経費区分	-	内線	245-0784
事務事業名	4311 図書館管理運営事業						
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課						
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費					
	事業	020000 図書館管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽に利用できるよう図書館事業を推進する。				「いつでも・どこでも・誰でも」文化や芸術に触れ、自ら取組んでいけるよう施設での活動を展開します。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等
平成24年度 実績	平成25年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等
平成26年度 実績	平成27年度 予定
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等

指標名	年間利用者数						
算式						単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	130,000	135,000	140,000	145,000	150,000	
	実績	120,155	116,523	117,913	115,105		
指標選定の理由	多くの方に利用していただくことが重要であるため。						
最終年度目標の根拠	平成21年度利用者数（120,756人）の25%増						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		29,228	29,319
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	34	103
一般財源		29,194	29,216
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		29,228.0	29,319.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	177	
11節 需用費	4,463	
13節 委託費	3,866	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	344	
その他	20,378	図書購入費13,000千円 機器賃借料5,358千円等

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	講師謝礼等200千円等
11節 需用費	0	光熱水費（電気料）1,365千円 光熱水費（ガス料）1,010千円等
13節 委託費	3,596	保守点検委託料2,344千円 施設管理委託料377千円等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	349	須高図書館協会負担金295千円等
その他	25,374	図書購入費13,000千円 機器賃借料5,512千円等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	生涯学習推進のため、市民誰もが気軽に利用できる施設として、市が主体となり運営する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	蔵書冊数は年々増加し、市民の読書に対する環境づくりは進めているが、利用者数の目標達成までには至っていない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設管理等委託可能な部分は外部委託している。不要となったチラシの再利用等コスト意識は職員に浸透している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設的に不十分な面もあり、利用される方には心苦しく思いますが、来館くださる皆様に感謝しております。来館者数、貸出冊数とも年により増減があり、数字の上では横ばいではありますが、今後目標達成に向けて工夫を重ねていきたいとおもいます。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
市民の文化力向上のための基本的事業であり、利用者の増加、満足度の向上に努めるとともに、市文化芸術振興ビジョンに基づき、まるごと図書館構想の推進等を図ると共に、他施設・団体との連携を推進する。		狭隘化が指摘されるが施設に頼らない取り組みの充実を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	